

## 城山マルチピッチクライミング報告

【日時】2017年3月11日（日）

【晴れ時々くもり】

【場所】伊豆 城山南壁

【ルート】ダイレクトルート、正面壁左ルート

【メンバー】CL 平野直、平野良

新東名、伊豆縦貫道、伊豆中央道の開通で城山はとても行きやすくなった。いつもの城ヶ崎と同じ感覚で4時に千葉を出発したが、6時には現地に到着してしまった。外気温は3℃、ファンクライミングとしてはちょっと寒い。仕方がないので大仁のマックで1時間ほど時間をつぶす。

7時過ぎ、思い腰をあげて駐車場に到着、先行車は2台。準備をしている1組を尻目に出発。本日はまず「エクスカーション」10Cを登ってから講習下見で「南西カンテ」5.7に取り付く予定だったが、たった1組の先行パーティがエクスカーションの下で準備中。待つのも時間があったくないので人気の「バトルランナー」10Bから登る事にする。

【ダイレクトルート】7:30~9:45 平野直オールトップ

1p目:5.8のスラブを斜上バンドまで。南壁下部は登られ過ぎてツルツルルートばかり。朝一なので慎重に。

2p目:10b 頭上の鎌形ハングの真ん中を目指すんだよね、と思うが良い支点がない。支点はたくさんあるのだが、みんな錆びていたり自作ボルトっぽい。左を見るとピカピカのケミカルボルトが美しく天に向かって。スポーツクライマーとして何となく左に向かってしまった。取り付いてみると5.8にしては難しい。終了点に来てみると、鎌形ハングは10m右に。やっぱり一本左のルートに来てしまった。ま、いっか。

3p目:10c このルートの核心部。バランスの良いスラブを弱点を探しながら直上。

4p目:5.8 ポケットがちりばめられたスラブを楽しく上がる。途中30m程左の空中を人の頭程の落石がすごい音で落下して行った。頭上の二間バンドからのものか？週末は上のフリーエリアにも人がいる可能性が高いので要注意。

下降:終了点から50m2ピッチの懸垂下降。ロープの回収は毎回緊張する。

【左ルート】10:45~14:00

次は下見として、まだ行ったことがない。南西カンテへ。取り付きをその場にいた知り合いのガイドさんに確認して藪の中へ。アプローチはちょっと緊張する。行ってみると3人？4人？パーティが取り付いている。しばらく待つが、初心者らしくかなり時間がかかっている。ここも諦めて、途中で見かけた左ルートへ転進することにした。

1 p 目：5.9 平野良リード 危なげなくロープを伸ばす。支点構築に手間取っている模様。まあ最初は仕方ないですね。アルパインクライミングは経験と慣れ、あと考える力が必要。

2 p 目：5.9 平野直リード ここからはつるべ（スタックカット）で進む。やっと普通のアルパインの練習になる。結構張り出した威圧的なハングを直上するが、うれしいガバが上下にあり、立体ムーブが楽しい。

3 p 目：10 a 平野直リード このピッチはちょっと難しいので平野直がそのまま継続登攀。

4 p 目：5.7 平野良のち直リード リードを代わって平野良がトップで取り付くが、途中からウロウロ、どうやら支点が見つからないらしい。トポ（ルート図）を見ると僅かに左寄りの直上、これを伝えるが前に進めない。仕方がないので途中でピッチを切ってトップを代わる。行ってみるとちょっとした張り出しの下にボロボロのハーケンが。気休めにランナーを取って左気味に登ると5mほどの所に古いRCCボルトがあった。しかしここから上が何も無い。10mくらいロープを伸ばして右の灌木で一つ支点を取り、終了点へ。二間バンドでは知り合いがクライミング中だった。

下降：二間バンド直下から50m2回、25m1回の懸垂下降。継続の懸垂下降もスムーズに降りる為に練習が必要。

帰りは伊豆中央道が結構の渋滞。聞けば週末の帰りは覚悟しなくてはいけないらしい。16時に現地を出て20時前に帰宅。



城山南壁、頭上の木はオアシステラス、その上にちょっと見えるのが鎌形ハング。その左を直上するのがダイレクトルート。

